



No. 2 0

有脇小学校校長だより

2019・5・24

命を守る

5月に入ってさまざまな「命を守る」訓練を行いました。5月10日には1・2年生の交通安全教室が行われました。傘をさしての歩行と、信号機のある交差点の渡り方を中心に歩行訓練を行いました。まさしく「自分の命は自分で守る」ための訓練でした。5月16日には3から6年生が交通安全教室を行いました。ここでは自転車訓練を行いました。3・4年生は運動場に設けられたコースで行い、5・6年生は校外に出て、実際の道路を使って訓練をしました。有脇小学校区は、狭い道や坂道がたくさんあります。スピードコントロールやブレーキのかけ方、一旦停止や横断の仕方などここでも「自分の命は自分で守る」ための訓練を行いました。最近報道された交通事故のように、自分がいくら気をつけていても交通事故は起こってしまいます。それでも少しでも確率が低くなるように、訓練を行っていきます。



両日とも、交通指導員の方々（他地区の交通指導員さんが応援に来てくださいました）や学校応援団「スクールガード」のみなさん、たくさんのPTAのみなさんがボランティアとして参加してくださり、要所要所で立哨して、指導してくださいました。「自分の命は自分で守る」のですが、その前に、地域のみなさんが見守ってくださるといふ力強さを感じました。本当にありがとうございました。



5月14日には地震の避難訓練を行いました。授業中に地震が発生したという想定で行いました。第1次避難をそれぞれの教室で行い、その後、体育館（雨天のため）へ全員が避難しました。地震発生から3分40秒で避難が完了しました。「おはしも（おさない・走らない・しゃべらない・もどらない）」をしっかりと守って、避難することができました。避難後、全員で「シェイクアウト訓練（写真）」を行いました。

昨年度の3月に「津波てんでんこ」の話を子どもたちにしました。究極の「自分の命は自分で守る」です。結果「釜石の奇跡」とよばれる避難が釜石ではできました。それぞれが責任をもって「自分の命は自分で守る」を実行すれば、全員が避難できるという教えです。わたしたちが生活するこの地方でも巨大地震が発生すると予想されています。子どもたちにはまず「自分の命は自分で守る」を徹底させたいと思います。



5月20日には救急法講習会を行いました。消防署の方に講師をお願いし、PTAも参加していただきました。前半は人形を使って、胸部圧迫とAEDの使い方について研修しました。AEDについては、出かけた先で、設置してある場所を気にする事の大切さをあらためて知りました。後半は教員のシミュレーション訓練を行いました。この日は雨天だったため「体育館で授業中に4年生の男子一人が意識をなくして倒れた」という想定で訓練を行いました。意識

確認、胸部圧迫、AEDや救急車の要請、保護者への連絡、子どもたちの誘導などを行いました。実際に行ってみると、さまざまな場面で問題が生じました。救急車を要請するのに子どもの容態がわからない（今回実際に消防署へ通報し、消防職員の方からさまざまな質問を受けた）とか、4年生だから、職員室への通報を子どもに頼めるが、1年生や2年生だったらどうするのかとか、子どもたちの誘導は誰がするのかとか、救急車の誘導はどうするのかとか……。マニュアルはありますが、対応の仕方をもう一度点検し直したいと思います。訓練を通して、できるようになることと、できないことを見つけることができました。専門の方に教えていただき、学校・保護者・地域がさらに協力して子どもたちの命を守っていきます。

もう夏です。涼しい風がピー〇をうまくなりますよね。

学校応援団のみなさんのおかげです

5月22日、学校応援団「せん定ボランティア」のみなさんが本年度最初のせん定を行ってくださいました。有脇小学校は緑の豊かな学校で、その手入れも大変です。今回は9名の方が来てくださいました。本校職員と合わせて12名で作業を行いました。整った環境で子どもたちは活動ができます。本当にありがとうございました。



5月23日には、5年生が田植えを行いました。以前、もみまきを行って育てた（育てていただいた(笑)）苗を田んぼに植えました。泥の感触や水の気持ちよさを感じながら、最初は慎重にゆっくり植えていましたが、なれてくると、素早く上手に植えることができるようになりました。約半分植えたところで、残りは田植機でサッと植えました。手植えを体験したことで、機械のありがたさもしっかり体験することができたと思います。今回も15名の学校応援団「稲作指導」のみなさんが田んぼの整備から田植え指導まで丁寧にしてくださいました。また市役所やJAの方、保護者もいらっしやっていました。子どもたちは多くの方にお世話になって成長していきます。ありがとうございました。

今回も15名の学校応援団「稲作指導」のみなさんが田んぼの整備から田植え指導まで丁寧にしてくださいました。また市役所やJAの方、保護者もいらっしやっていました。子どもたちは多くの方にお世話になって成長していきます。ありがとうございました。